

白河市震災復興計画（中間案）に対する意見内容及び市の考え方

※意見の内容は、提出された原文のまま掲載しています。

No	意見の内容	市の考え方	計画への反映結果	該当箇所
1	今回のような原子力災害は、国内では初のケースであり、例えば安定ヨウ素剤の配布などでかなりの混乱があった。こうした災害は、今回で最後とは限らないと考える。今回の経験を活かすためにも、 原子力災害への防災についても検討すべきではないか。	原子力災害への防災については、今後の国・県の動向や対処方針等を考慮しながら、必要な防災対策と体制整備について検討してまいります。	ご意見をいただいた内容は、主要施策3-2「防災体制・防災対策の強化」で示した取組み方針の③の「地域防災計画の見直し」を行う中で、検討してまいります。	37ページ
2	アパートの住人等、全ての市民が地域コミュニティに参加していない現状があるため、 こうした市民に対しても情報提供(特に災害時)や、地域コミュニティと関わるよう促す仕組みづくりが必要ではないか。	災害時の情報提供については、人命にかかわる重要事項でありますので、今回の震災の経験を踏まえ、近隣住民への協力依頼による情報伝達を図る仕組みを検討してまいります。 また、地域コミュニティとの関わりについて、災害時においては、町内会への加入等にかかわらず、地域が連帯感を持ち、住民同士による安否確認や避難等の共助が必要となります。このため、日頃から町内会未加入者の居住状況や高齢者の生活状況などを把握するための交流が欠かせないことから、町内清掃などの町内会活動への参加呼びかけ活動等を町内会連合会を通じて促してまいります。	災害時の情報提供については、主要施策3-2「防災体制・防災対策の強化」で示した取組み方針の③の「地域防災計画の見直し」を行う中で検討していくとともに、取組み方針の⑨及び⑩の「情報伝達手段の確保」の中で、取り組んでまいります。 地域コミュニティと関わる仕組みづくりについては、主要施策3-3「災害に強いコミュニティづくり」で示した取組み方針の中で、検討してまいります。	37ページ 38ページ
3	新エネルギーについては、まだまだ完成していない分野と考える。再生可能エネルギーの導入促進に加えて、 その効果の検証や結果の公表等も積極的にを行う方針としてはどうか。	平成22年度に策定した地域新エネルギービジョン等に基づき、行政、市民、事業者からなる推進体制の構築や地場産業との連携強化を図り、本市に導入可能なエネルギーの調査・研究や再生可能エネルギーの導入促進に関する検証等を行ってまいります。 また、国、県の動向や市の取組み状況などについて随時、情報発信に努めてまいります。	ご意見を尊重し、主要施策3-4「エネルギー対策の充実」の中に、新たな取組み方針を追加させていただきました。 【追加】 ① 市民や事業者との連携により再生可能エネルギーの推進体制を構築し、導入可能なエネルギーの調査・研究を行うとともに、地域に適した事業モデルや導入促進に関する検証などを行う。また、エネルギーに関する国・県の動向や市の取組状況などについての情報発信を行う。	38ページ

No	意見の内容	市の考え方	計画への反映結果	該当箇所
4	<p>子どもに対する防災教育や、震災の経験を踏まえた道徳教育等については同意だが、白河市の子どもたちは、原発事故により「放射能汚染」という重荷を背負ってしまったと考える。彼らが将来、前向きに地域を担っていけるよう、学力の向上や技術の習得ができる高等教育の充実を図る方針を入れるべきではないか。</p>	<p>子どもたちの学力向上については、授業の質的改善を柱とした学力向上を推進しているところですが、今後も各小・中学校の足並みをそろえた取組みについて、継続して実施してまいります。</p> <p>また、技術の習得ができる高等教育の充実について、産業人材の育成は、雇用の確保や工業の復興という観点からも重要と考えており、その対策の一つとして、平成20年度より高等技術専門学校の誘致に向けた要望活動に取り組んでいるところであります。</p>	<p>ご意見を尊重し、主要施策5-2「子育て・教育環境の整備」の中に、新たな取組み方針を追加させていただきます。</p> <p>【追加】 ⑨震災の経験から、子どもたちが正しい知識と情報に基づき、自ら判断し、行動する力を身につけさせるため、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等のバランスがとれた学力の向上を推進する。</p> <p>また、高等教育の充実については、主要施策2-3「雇用の確保・創出」の取組み方針の⑦、主要施策4-1「商工業の復興」の取組み方針の⑥の中で、高等技術専門学校の誘致等について示しております。</p>	<p>33ページ 41ページ 46ページ</p>
5	<p>今回の原子力災害は、日本の科学技術に対するイメージの低下を招いたと考えている。今回の災害による被災地だからこそ、倫理観を持った科学技術者を育成できると思うので、理科系教育の充実を図るよう方針に盛り込んでどうか。</p>	<p>本市では、再生可能エネルギーの推進を復興重点施策に掲げておりますが、将来、再生可能エネルギーの研究開発など、福島県として推進する取組みを白河の子どもたちが担えるように、市においても小・中学校に配置している非常勤講師の活用等を図りながら、算数・数学、理科の学力向上を推進してまいります。</p>	<p>ご意見を尊重し、主要施策5-2「子育て・教育環境の整備」の中に、新たな取組み方針を追加させていただきます。</p> <p>【追加】 ⑩震災による身の回りの問題に対して、子どもたちが積極的に課題を発見し解決したり、多様な観点から考察したりする力を伸ばすため、根拠を明らかにした思考や科学的な見方・考え方の育成に重点を置いた理数教育の充実を図る。</p>	<p>46ページ</p>